

第8回地域づくり政策セミナー

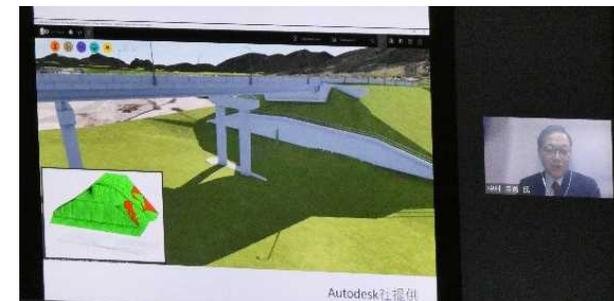
- （一社）九州地域づくり協会では、インフラ・ストック効果の周知を図るため、令和4年1月31日（月）、「第8回地域づくり政策セミナー」を開催しました。近年の社会情勢を踏まえ「DX時代のインフラと人材育成-DXがもたらす社会変化-」をテーマに、各分野で活躍されている7名の方々にご参加頂きました。当日は、全国的なコロナ感染拡大を受け、急きょ会場参加者をWeb受講に変更し、約250名の完全Webの受講となりました。
- 基調講演では、土木研究所の中村上席研究員より、「持続可能性×DXによるインフラ整備の方向性～3次元川づくりを事例として～」をテーマとして、世界の最新情報の動きやDXを活用した公共事業の動向等について重要な情報提供を頂きました。
- 次に、各分野におけるDX推進の取り組み状況等について、以下の事例報告を頂きました。
 - ①福岡市 日上課長：福岡市における行政手続きのオンライン化等によるDX推進の効果など
 - ②NTTドコモ 坪谷部長：情報通信事業者として、DX推進における苦労や次世代への方向性など
 - ③清水建設(株) 小島部長：建設業界におけるICT技術の経緯、建設生産システムの変革など



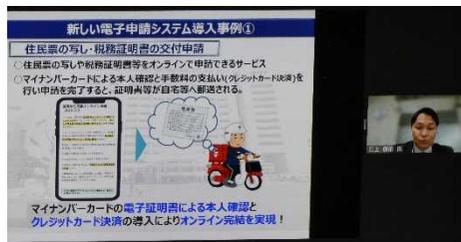
(主催挨拶)
九州地域づくり協会
田中 理事長



(来賓挨拶)
九州地方整備局
藤巻 局長



(基調講演) 国研開法 土木研究所
上席研究員 中村 圭吾 氏



(事例報告1) 福岡市 総務企画局
ICT推進課長 日上 俊祐 氏



(事例報告2) NTTドコモ 執行役員
5G・IoTビジネス部長 坪谷 寿一 氏



(事例報告3) 清水建設(株) 土木技術本部
イノベーション推進部長 小島 英郷 氏

●パネルディスカッションでは、日野九州大学名誉教授のコーディネートののもと、4名のパネリストをお招きし、中村上席研究員をアドバイザーとして、①DXの活用や取り組み状況、②望ましいDXとは、実現するための課題や対応策、③DX時代の人材育成や技術伝承 についてご議論を頂きました。

●最後に日野コーディネータより、①DXを推進するうえで、既存ルールの見直しや改定等が必要、②DXによる公共サービス改善のためには、働き方改革を含めた建設インフラの生産性向上が必要不可欠、③推進の鍵として、人材育成や技術伝承が重要であり、**所属・学部を越えた産官学、特に他業種との連携が不可欠**であることをまとめて頂き幕を閉じました。



(Zoomによるパネルディスカッションの様子)

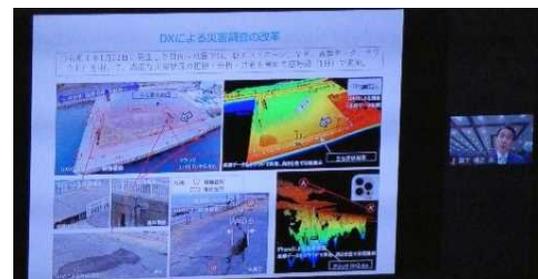
左上より右へ、土木研究所 中村上席研究員、九州大学 馬奈木教授、清水建設(株) 小島部長
左下より右へ、九州地方整備局 森下部長、NTTドコモ 坪谷部長、日野九州大学名誉教授



(Web会場の様子)



(パネルディスカッション) 九州大学
工学研究院 教授 馬奈木 俊介氏



(パネルディスカッション) 国土交通省
九州地方整備局 企画部長 森下 博之 氏